

ヤマトグループ° 連結決算概要 (2020年3月期 第2四半期)



ヤマトホールディングス

2019年11月1日

1. 2020年3月期 第2四半期決算（総括）

● 2020年3月期第2四半期の連結業績（累計）は「増収減益」

- ① デリバリー事業において、**プライシングの適正化を継続的に推進したことで、宅急便単価は想定を上回ったものの、大口法人顧客の取扱数量減少**を主因とし、**宅急便（除くネコポス）の取扱数量が想定を下回ったこと**などにより、**営業収益は前回予想を下回る結果**となった
- ② **業務量に応じた集配体制整備の見直し**を進めたことなどにより、**営業費用は想定を下回ったものの、営業利益は前回予想を下回る結果**となった
- ③ 引き続き「デリバリー事業の構造改革」を推進し、**業務量に応じたコストコントロール**に注力しつつ、**プライシングの適正化と取扱数量の拡大**に取り組むとともに、グループ全体で**アカウントマネジメント**を強化し、お客様の課題解決に当たる**ソリューション営業を推進**

● 通期連結業績予想

- ・ 営業収益 1兆6,700億円（前回予想差▲250億）
- ・ 営業利益 620億円（前回予想差▲100億）
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益 320億円（前回予想差▲60億）

1. 連結営業収益：8,001億（前期差+109億 前回予想差▲68億）

2. 連結営業利益： 62億（前期差▲172億 前回予想差▲57億）

3. 通期連結業績予想

以下の前提により前回予想から下方修正となるが、
グループの総力を挙げて取り組み、増収増益となる予想

（1）数量

- ・通期の宅急便（3商品合計）数量は、前期比+2.5%となる見通し
- ・下期の宅急便（除くネコポス）数量は、増加に転じる見通し

（2）単価

- ・宅急便（除くネコポス）単価は、継続して対前期で上昇

（3）営業収益

- ・ホームコンビニエンス事業の新たな単身者向け引越サービスについて、
エリア拡大や法人向け提供について慎重に検討を継続

（4）営業費用

- ・宅急便取扱数量のピークとなる12月に向けて、適正な集配体制の構築を推進
- ・第4四半期の業務量を勘案した稼働設計を行うなど、コストコントロールに注力

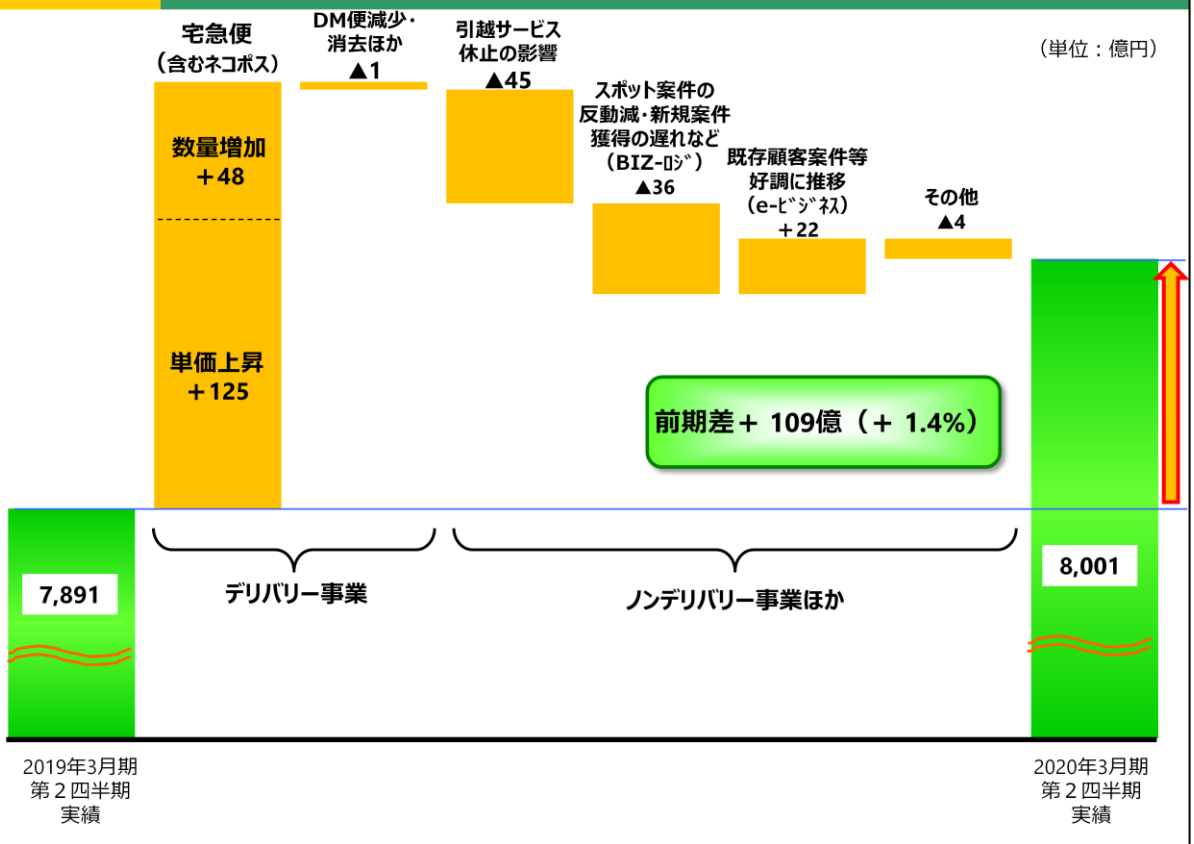
2. 2020年3月期 第2四半期決算（総括）

(単位：億円)	2019年3月期 第2四半期 累計実績	2020年3月期 第2四半期 累計実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益				
デリバリー事業	6,231	6,404	+ 172	+ 2.8
ノンデリバリー事業ほか	1,659	1,597	▲ 62	▲ 3.8
合計	7,891	8,001	+ 109	+ 1.4
営業利益	234	62	▲ 172	▲ 73.5
(利益率)	3.0%	0.8%	-	-
経常利益	227	27	▲ 200	▲ 88.0
(利益率)	2.9%	0.3%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	99	▲ 34	▲ 134	-
(利益率)	1.3%	▲0.4%	-	-

1. 営業収益 8,001億（前期差+109億）
 - (1) デリバリー事業 : プライシングの適正化やネコポスの取扱数量の増加により増収
 - (2) ノンデリバリー事業 : 引越サービスの休止、スポット案件の反動減、新規案件獲得の遅れなどにより減収
2. 営業利益 62億（前期差▲172億）
営業費用の増加を、営業収益の伸びで吸収できず減益
3. 営業外損益 ▲34億（前期差▲28億）
 - (1) 営業外収益 12億（前期差+ 0億）
 - (2) 営業外費用 47億（前期差+28億）
 - ・持分法適用会社の投資損失 36億（前期差+26億）

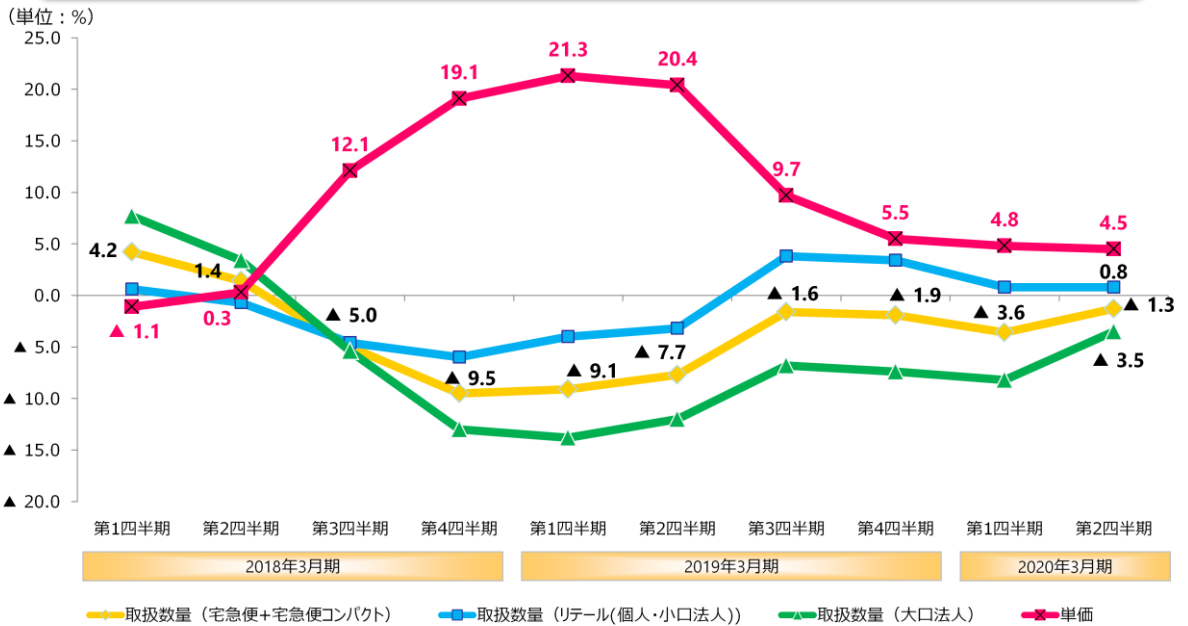
3. 連結営業収益増減分析（第2四半期累計）

（単位：億円）



4. 宅急便（除くネコポス）数量動向（第2四半期（7月～9月））

- ・取扱数量の減少幅は縮小したものの、前期を下回った（前期比▲1.3%）
- ・単価は上昇（前期比+4.5%）



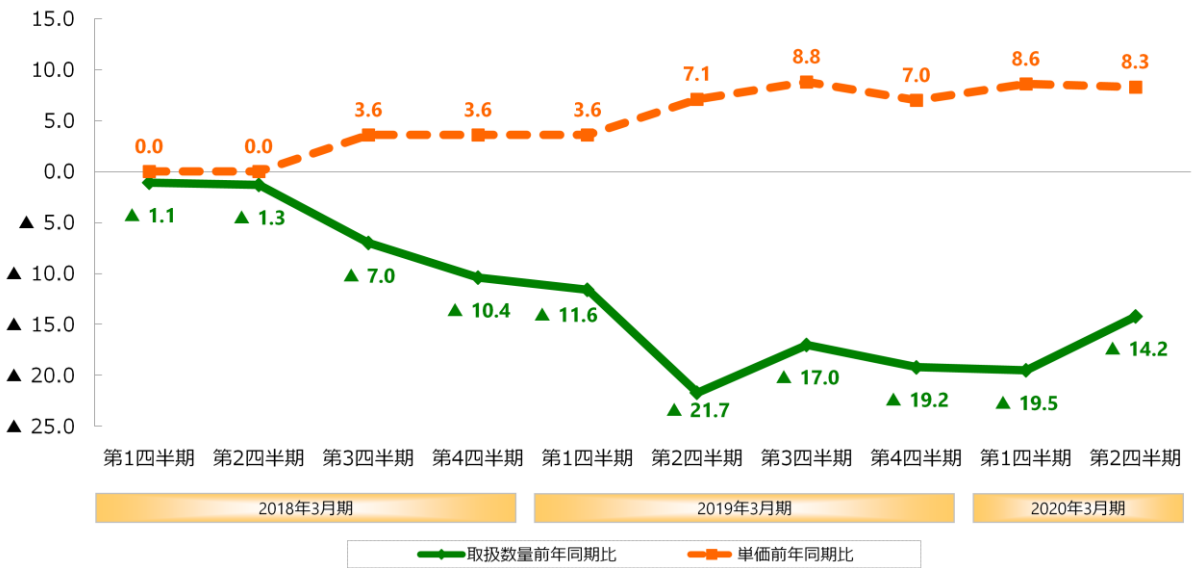
市場別単価動向（第2四半期）

リテール（個人・小口法人）+2.7% 大口法人+5.9%

5. クロネコDM便動向（第2四半期（7月～9月））

- ・取扱数量の減少幅は縮小（前期比▲14.2%）
- ・単価は上昇（前期比+8.3%）

(単位：%)



市場別発送数量（第2四半期）

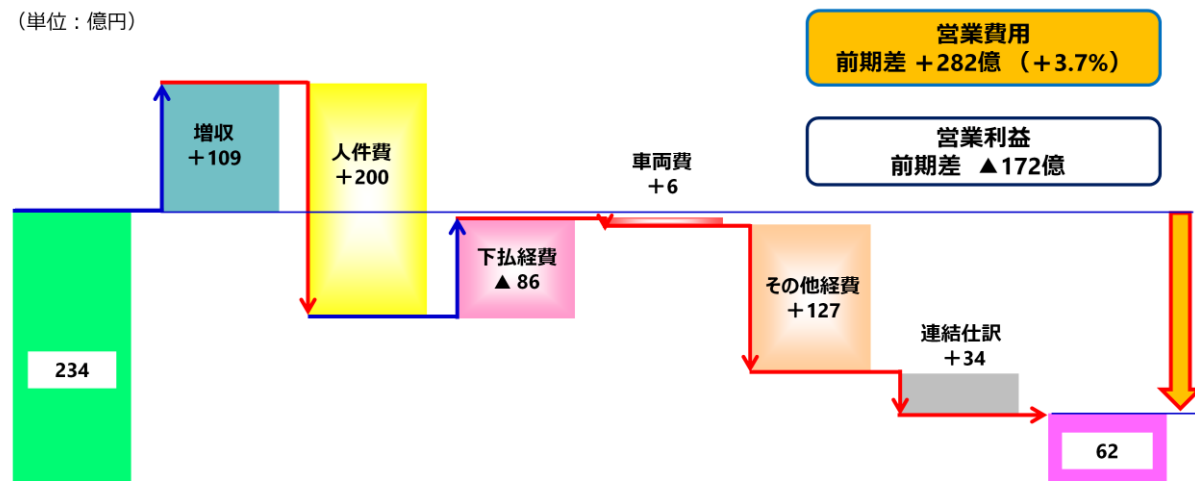
宅急便センター発 ▲13.6% 法人営業支店発 ▲14.5%

市場別発送単価（第2四半期）

宅急便センター発 +7.2% 法人営業支店発 +8.3%

6. 連結営業費用増減分析（第2四半期累計）

（単位：億円）



2019年3月期
第2四半期
営業利益
実績

【人件費】	
（内訳）	
社員給料	+135
その他	+64
（人件費その他：内訳）	
・賞与関連	+21
・法定福利費	+42
・厚生福利費	

【下払経費】	
（内訳）	
委託費	▲92
備車費	+37
その他	▲31

【車両費】	
（内訳）	
燃料油脂費	▲1
車両修繕費	+8

【その他経費】	
（主な内訳）	
施設使用料	+18
減価償却費	+30
コンピュータ費	+16
諸修繕費	+26

2020年3月期
第2四半期
営業利益
実績

- 人件費** +200億（+4.9%） : 集配体制の構築に向けた増員など
 - 社員給料 +135億
 - 賞与関連 +21億
 - 厚生・法定福利費 +42億
- 下払経費** ▲86億（▲2.8%） : 外部配達委託に係る費用を抑制
 - 委託費 ▲92億（▲7.3%） : 備車単価上昇等により増加
 - 備車費 +37億（+3.9%）
 - 下払経費その他 ▲31億（▲3.8%）
- 車両費** +6億（+2.7%） : 燃料単価下落
 - 燃料油脂費 ▲1億（▲1.4%）
 - 車両修繕費 +8億（+7.1%）
- その他経費** +127億（+7.8%） : 車両や機械装置、建物など
 - 減価償却費 +30億（+13.4%） : 流山ベースなど
 - 施設使用料 +18億（+5.5%） : 第8次NEKOシステムに係る費用など
 - コンピュータ費 +16億（+9.1%） : 「働き方改革」の推進による環境整備など
 - 諸修繕費 +26億（+40.3%）

7. 連結営業費用総括表（第2四半期累計）

(単位：百万円)	2019年3月期 第2四半期 累計実績	2020年3月期 第2四半期 累計実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	789,131
営業費用	765,696	793,912	+ 28,216	+ 3.7
人件費	405,717	425,746	+ 20,028	+ 4.9
社員給料	277,072	290,602	+ 13,530	+ 4.9
その他	128,645	135,144	+ 6,498	+ 5.1
下払経費	309,340	300,668	▲ 8,671	▲ 2.8
委託費	126,863	117,634	▲ 9,228	▲ 7.3
備車費	97,330	101,086	+ 3,756	+ 3.9
その他	85,145	81,946	▲ 3,199	▲ 3.8
車両費	23,864	24,511	+ 647	+ 2.7
燃料油脂費	12,374	12,204	▲ 169	▲ 1.4
その他経費	163,433	176,162	+ 12,729	+ 7.8
減価償却費	22,510	25,527	+ 3,017	+ 13.4
内部消去	▲ 136,658	▲ 133,176	+ 3,482	-
営業利益	23,435	6,213	▲ 17,221	▲ 73.5

8. 「デリバリー事業」営業費用総括表（第2四半期累計）

(単位：百万円)	2019年3月期 第2四半期 累計実績	2020年3月期 第2四半期 累計実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	623,137
営業費用	608,156	643,985	+ 35,829	+ 5.9
人件費	351,344	371,021	+ 19,677	+ 5.6
社員給料	240,123	253,677	+ 13,554	+ 5.6
その他	111,220	117,343	+ 6,122	+ 5.5
下払経費	180,482	178,018	▲ 2,464	▲ 1.4
委託費	73,342	67,031	▲ 6,311	▲ 8.6
備車費	92,371	96,667	+ 4,296	+ 4.7
その他	14,768	14,319	▲ 449	▲ 3.0
車両費	21,147	22,009	+ 861	+ 4.1
燃料油脂費	10,318	10,335	+ 17	+ 0.2
その他経費	114,928	127,457	+ 12,529	+ 10.9
減価償却費	15,295	18,420	+ 3,124	+ 20.4
内部消去	▲ 59,746	▲ 54,520	+ 5,225	-
営業利益	14,980	▲ 3,562	▲ 18,543	-

(注) 上記数値は海外宅急便事業に関わる営業費用を含む

9. 2020年3月期 連結業績予想（セグメント別内訳）

(単位：百万円)		2019年3月期 実績	2020年3月期 前回予想	2020年3月期 今回予想	前回予想比較		前期比較	
					増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
営業収益								
	デリバリー事業	1,297,222	1,350,000	1,337,000	▲ 13,000	▲ 1.0	+39,777	+3.1
	BIZ-ロジ事業	147,437	153,000	152,000	▲ 1,000	▲ 0.7	+4,562	+3.1
	ホームコンビニエンス事業	33,404	42,000	32,000	▲ 10,000	▲ 23.8	▲ 1,404	▲ 4.2
	e-ビジネス事業	26,592	27,000	28,000	+1,000	+3.7	+1,407	+5.3
	フィナンシャル事業	79,966	83,000	81,000	▲ 2,000	▲ 2.4	+1,033	+1.3
	オートワークス事業	25,985	27,000	27,000	0	0.0	+1,014	+3.9
	その他	14,705	13,000	13,000	0	0.0	▲ 1,705	▲ 11.6
	合計	1,625,315	1,695,000	1,670,000	▲ 25,000	▲ 1.5	+44,684	+2.7
営業利益								
	デリバリー事業	40,787	50,000	41,000	▲ 9,000	▲ 18.0	+212	+0.5
	BIZ-ロジ事業	3,329	4,000	5,000	+1,000	+25.0	+1,670	+50.2
	ホームコンビニエンス事業	▲ 7,764	▲ 3,000	▲ 7,000	▲ 4,000	-	+764	-
	e-ビジネス事業	8,740	10,000	11,000	+1,000	+10.0	+2,259	+25.9
	フィナンシャル事業	6,244	7,000	7,000	0	0.0	+755	+12.1
	オートワークス事業	4,433	5,000	5,000	0	0.0	+566	+12.8
	その他	19,372	39,000	40,000	+1,000	+2.6	+20,627	+106.5
	小計	75,144	112,000	102,000	▲ 10,000	▲ 8.9	+26,855	+35.7
	内部消去	▲ 16,798	▲ 40,000	▲ 40,000	0	-	▲ 23,201	-
	合計	58,345	72,000	62,000	▲ 10,000	▲ 13.9	+3,654	+6.3
経常利益		54,259	69,000	59,000	▲ 10,000	▲ 14.5	+4,740	+8.7
	(利益率)	3.3%	4.1%	3.5%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益		25,682	38,000	32,000	▲ 6,000	▲ 15.8	+6,317	+24.6
	(利益率)	1.6%	2.2%	1.9%	-	-	-	-
数量 (千個)								
	宅急便・宅急便コパ [®] 外	1,668,280	1,690,000	1,664,000	▲ 26,000	▲ 1.5	▲ 4,280	▲ 0.3
	ネコポス	135,250	184,000	184,000	0	0.0	+48,749	+36.0
	クロネコDM便	1,211,525	1,060,000	1,060,000	0	0.0	▲ 151,525	▲ 12.5
単価 (円)								
	宅急便・宅急便コパ [®] 外	702	722	724	+2	+0.3	+22	+3.1
	ネコポス	191	195	200	+5	+2.6	+9	+4.7
	クロネコDM便	60	63	63	0	0.0	+3	+5.0

1. 営業収益

(1) デリバリー事業

足元の状況を踏まえ、宅急便（除くネコポス）の取扱数量・単価、ネコポスの単価の予想を変更

(2) ホームコンビニエンス事業

新たな単身者向け引越サービス以外のサービスを休止している状況を勘案し、前回予想を変更

(3) BIZ-ロジ事業、e-ビジネス事業、フィナンシャル事業

足元の状況を踏まえ、前回予想を変更

2. 営業利益

人件費、下払経費を中心に業務量に応じたコストコントロールに努め、
営業費用は前回予想差▲150億とし、営業利益は前回予想差▲100億

3. 経常利益

営業利益予想の変更を踏まえ、前回予想を変更

4. 親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益予想の減額に伴い、前回予想を変更

10. 2020年3月期 連結業績予想（営業費用内訳）

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 前回予想	2020年3月期 今回予想	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
				営業収益	1,625,315	1,695,000	1,670,000
営業費用	1,566,969	1,623,000	1,608,000	▲ 15,000	▲ 0.9	+41,030	+2.6
人件費	821,715	873,000	860,000	▲ 13,000	▲ 1.5	+38,284	+4.7
社員給料	564,377	601,000	591,000	▲ 10,000	▲ 1.7	+26,622	+4.7
その他	257,338	272,000	269,000	▲ 3,000	▲ 1.1	+11,661	+4.5
下払経費	629,645	614,000	612,000	▲ 2,000	▲ 0.3	▲ 17,645	▲ 2.8
委託費	256,817	237,000	235,000	▲ 2,000	▲ 0.8	▲ 21,817	▲ 8.5
備車費	201,377	201,000	206,000	+5,000	+2.5	+4,622	+2.3
その他	171,449	176,000	171,000	▲ 5,000	▲ 2.8	▲ 449	▲ 0.3
車両費	46,656	50,000	50,000	0	0.0	+3,343	+7.2
燃料油脂費	23,981	25,000	25,000	0	0.0	+1,018	+4.2
その他経費	342,602	377,000	376,000	▲ 1,000	▲ 0.3	+33,397	+9.7
減価償却費	51,346	56,000	55,000	▲ 1,000	▲ 1.8	+3,653	+7.1
内部消去	▲ 273,649	▲ 291,000	▲ 290,000	+1,000	-	▲ 16,350	-
営業利益	58,345	72,000	62,000	▲ 10,000	▲ 13.9	+3,654	+6.3
従業員数合計（人）	225,125	234,700	232,000	▲ 2,700	▲ 1.2	+6,875	+3.1
フルタイム	97,587	100,500	100,000	▲ 500	▲ 0.5	+2,413	+2.5
パートタイム	127,538	134,200	132,000	▲ 2,200	▲ 1.6	+4,462	+3.5
設備投資総額（百万円）	83,514	85,000	85,000	0	0.0	+1,485	+1.8

1. 人件費：業務量に応じて集配体制整備の見直しを進めることなどを踏まえ、前回予想を変更

2. 下払経費

(1) 委託費：業務量に応じたコストコントロールに努め、前回予想を変更

(2) 備車費：備車契約単価の上昇等を踏まえ、前回予想を変更

(3) その他：デリバリー事業、ホームビジネス事業の収益予想の変更を踏まえ、前回予想を変更

3. その他経費：設備投資のタイミング等、足元の状況を踏まえ、減価償却費を前回予想から変更

【参考資料】連結営業収益増減分析（第2四半期累計）

(単位：億円)

前期差 + 109億 (+ 1.4%)

デリバリー +172

BIZ-ロジ ▲36

ホーム
コンビニエンス ▲45

e-ビジネス + 22

フィナンシャル ▲11

オートワークス ▲0

その他 +8

7,891

8,001

1. デリバリー

【宅急便 市場別数量】

国内	
①宅急便(3商品合計)	879,544千個 (+ 0.6%)
②宅急便・宅急便コパ [®] 外	795,615千個 (▲ 2.4%)
③ネコポス	83,929千個 (+ 41.2%)
《宅急便3商品合計内訳》	
①大口法人	408,914千個 (▲ 3.7%)
②リテール	470,630千個 (+ 4.6%)
《リテール内訳》	
i)個人	61,940千個 (▲ 0.3%)
ii)小口法人	408,689千個 (+ 5.3%)
海外	
	2,415千個 (▲ 30.3%)

2. BIZ-ロジ (※1)

【主要サブセグメント動向】

①国際物流	
	▲ 18億 (▲ 5.9%)
(内訳)	
・貿易物流	▲ 12億 (▲ 6.0%)
・その他	▲ 5億 (▲ 5.5%)
②国内物流	
	▲ 21億 (▲ 3.8%)
(内訳)	
・販売物流	▲ 16億 (▲ 6.3%)
・リハ [®] -ロジ [®]	▲ 12億 (▲ 11.6%)
・ハルスカアジ [®]	+ 0億 (+ 0.6%)
・その他	+ 7億 (+ 6.8%)
③消去・その他	
	+ 3億 (- %)

3. ホームコンビニエンス (※2)

【主要サブセグメント動向】

①ホームコンビニエンス	
	▲ 50億 (▲ 20.0%)
②消去・その他	
	+ 5億 (- %)
5. フィナンシャル	
【主要サブセグメント動向】	
①ペイメント	
	▲ 9億 (▲ 5.9%)
②リース	
	▲ 3億 (▲ 1.6%)
③クレジットファイナンス	
	▲ 0億 (▲ 4.2%)
④消去・その他	
	+ 1億 (- %)

4. e-ビジネス

【主要サブセグメント動向】

①カードソリューション	
	+ 9億 (+ 20.6%)
②ITオペレーティング	
	+ 6億 (+ 17.1%)
③e-通販ソリューション	
	+ 6億 (+ 25.0%)
④消去・その他	
	+ 1億 (- %)

6. オートワークス

【主要サブセグメント動向】

①トラックソリューション	
	▲ 0億 (▲ 0.3%)
②消去・その他	
	▲ 0億 (- %)

2019年3月期
第2四半期
実績

(注) 下記事業の区分変更 (2019年4月1日実施) に伴い、2019年3月期の数値を一部組替

※ 1. BIZ-ロジ事業

- ・販売物流サービス、e-ロジソリューションを販売物流として表示
- ・マルチメンテナンス、テクニカルネットワーク、その他に含めていたセットアップ・ロジソリューションをリバースロジスティクスとして表示
- ・メディカルロジスティクスおよびその他に含めていたe-オンデマンドソリューションをヘルスケアロジスティクスとして表示

※ 2. ホームコンビニエンス事業

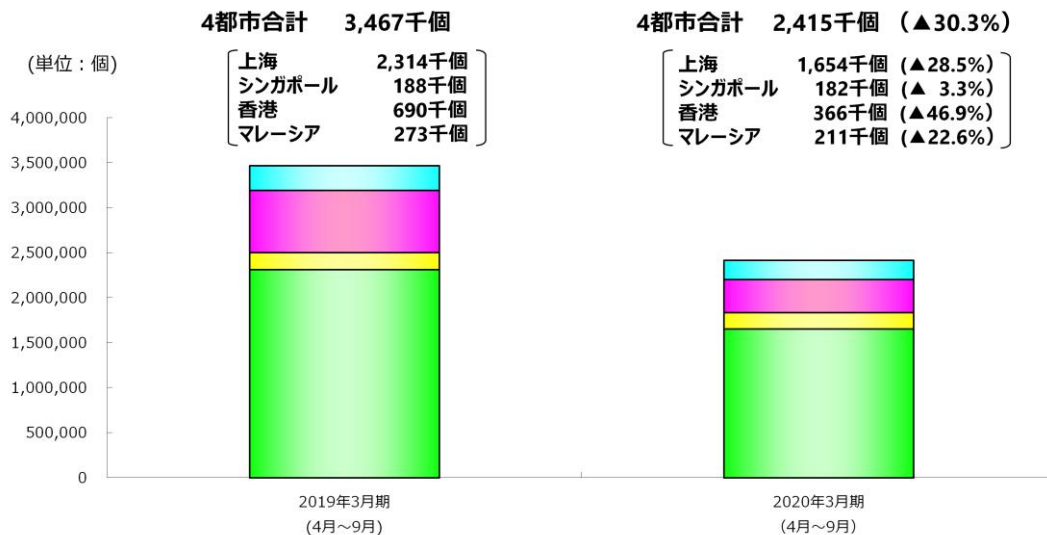
- ・ビジネスコンビニエンスをホームコンビニエンスに含めて表示

2020年3月期
第2四半期
実績

【参考資料】 海外宅急便動向（第2四半期累計）

「海外4都市（ヤマトグループ直轄）」取扱数量

■ 上海 ■ シンガポール ■ 香港 ■ マレーシア




「海外4都市+台湾」取扱数量

2019年3月期
第2四半期
累計実績
55,296千個

2020年3月期
第2四半期
累計実績
54,168千個 (▲2.0%)

不採算取引の見直し等により数量は減少



本資料（解説付き）および説明会質疑応答の議事録は、
PDF形式で弊社ホームページ「株主・投資家情報」でご覧頂けます。

免責事項：この内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。提供情報の内容については万全を期しておりますが、完全性、正確性を保証するものではありません。いかなる情報も、不的確な記載や誤植等を含む可能性があります。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご承知ください。